

## 基本目標3：スポーツ競技力の向上

インターハイ等の開催を契機にスポーツ振興を図り、競技力向上のため選手育成や関係団体との連携強化、障がい者の参画機会の拡充などに向け、次の施策を展開します。

### ①選手の育成強化支援

- 安来市スポーツ・文化全国大会出場激励金の交付
- 民間事業者との包括連携協定による選手育成のためのトップアスリート招致・教室開催

### ②競技スポーツ指導者の確保と育成

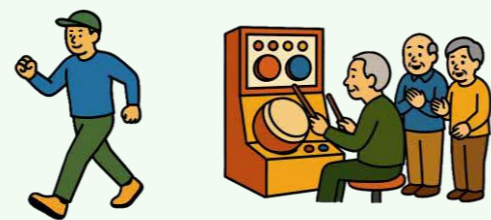
- 指導者資格取得のための研修等に関する情報提供及び支援（再掲）
- スポーツ指導者研修会の開催（再掲）

### ③スポーツ団体の活動支援

- 各スポーツ団体間の情報交換の場の提供
- 各スポーツ団体の活動等の情報収集及び情報発信
- 子どもの発達段階に応じた適切な指導の普及

### ④スポーツを通じた地域の活性化

- 交流センター等でのeスポーツの普及（再掲）
- 地域におけるスポーツ推進委員等の指導者派遣の推進
- 各地区でのスポーツ活動機会提供及び情報共有の推進
- ウォーキング等コースの新規設定及び既存コース周知の推進
- eスポーツの拠点整備・人材育成
- 国スポ・全スポ開催に向けた地域の一体感の醸成



安来市で行われた2025インターハイ（フェンシング）の様子

## 基本目標4：スポーツを通じたネットワークづくり

健康増進計画と連携した生涯スポーツの環境整備や、eスポーツ等による地域・世代間交流の促進、多様な主体との協働により、誰もが心身ともに健康で過ごせるまちづくりを目指し、次の施策を展開します。

### ①スポーツを通じた健康増進

- 交流センター等でのeスポーツの普及（再掲）
- 健康福祉部門との連携による運動・スポーツを通じた健康政策の推進
- 健康増進に関する活動や取組の情報発信
- ファミリー健康体力向上事業の実施



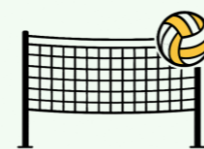
令和7年に行われたスポレク広場でニュースポーツ（ピンボウリング）を通して交流を行う様子

### ②競技大会開催による交流促進

- eスポーツ運動会の開催（再掲）
- スポーツ大会の開催
- プロスポーツのイベント等の誘致
- プロスポーツ選手によるスポーツ教室等の開催

### ③地域資源の活用と近隣自治体、民間事業者等との連携の推進

- eスポーツ運動会の開催（再掲）
- 中海・宍道湖・大山圏域でのスポーツ環境の整備及び情報発信の協力
- 民間事業者等との連携による地域資源を活用したスポーツの推進
- スポーツによる来訪者への市内周遊の情報提供



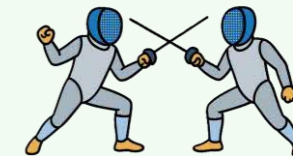
## 第3期安来市スポーツ推進計画【概要版】

安来市

### 計画策定の趣旨

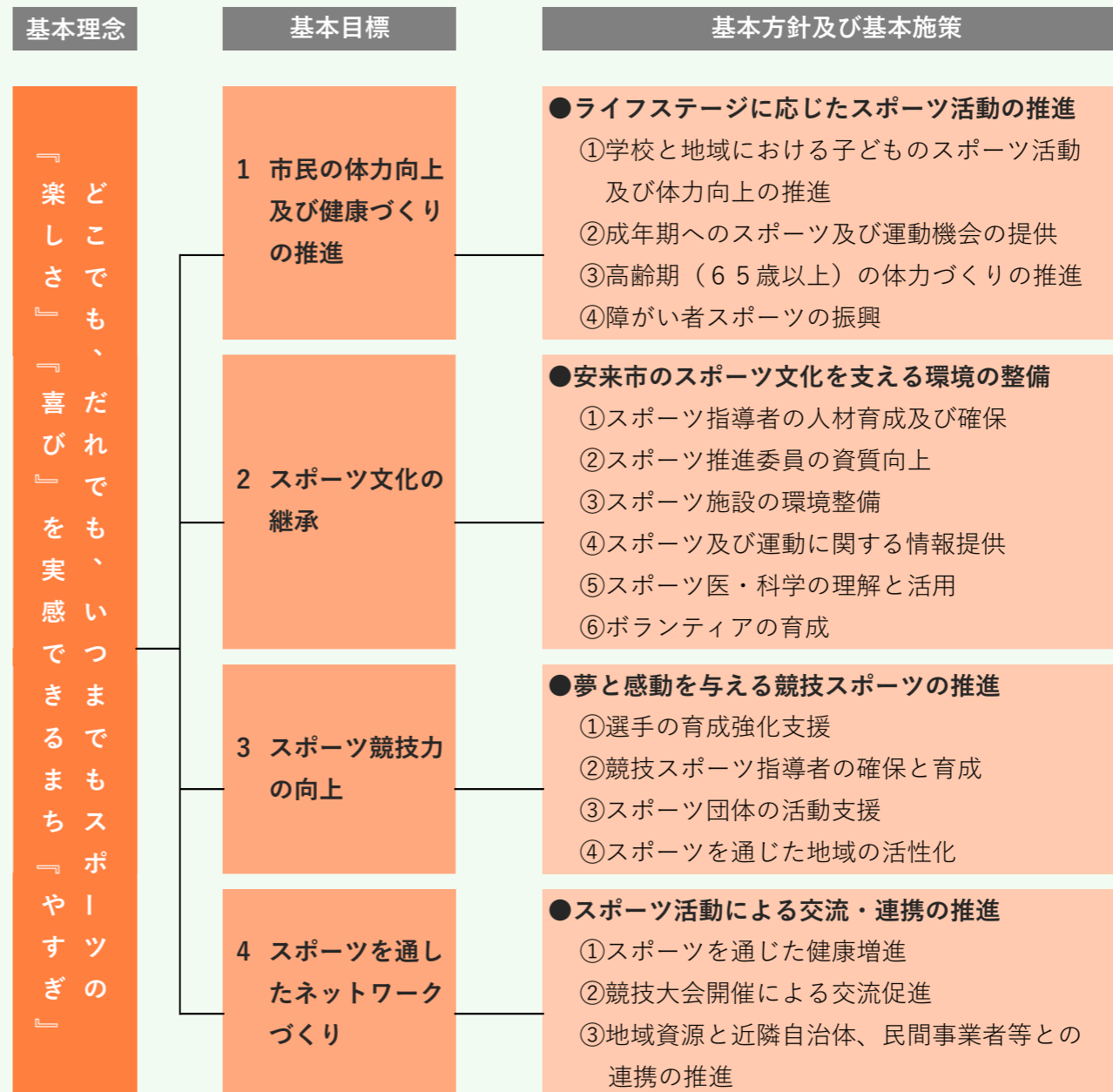
安来市では、これまで「安来市スポーツ推進計画」等を策定し市民のスポーツ振興に努めてきましたが、少子高齢化やライフスタイルの多様化など、スポーツ環境は大きく変化しています。

特に新型コロナウイルスの影響で本市のスポーツ活動は甚大な影響を受け、現在も施設の利用者数が回復しきらないなど多くの課題が残されています。一方で国や県の動向に見られるように、スポーツを通じた社会課題の解決や地域活性化への期待は高まっています。これらの状況を踏まえ、本市では「第3次安来市総合計画」等との整合性を図りつつ、第2期計画の理念や施策を基本的に継承し、社会情勢の変化に対応した新たな取組を追加・整理した「第3期安来市スポーツ推進計画」を策定しました。



### 計画の基本理念、基本目標、基本方針及び基本施策

安来市では、次の基本理念及び基本目標に従ってスポーツの推進に努めていきます。なお、この計画は令和8年度から5か年の計画です。



## 基本目標1：市民の体力向上及び健康づくりの推進

市民が生涯にわたってスポーツ活動を行うことができるように各ライフステージに応じた次の施策を展開します。

### ①学校と地域における子どものスポーツ活動及び体力向上の推進

幼児から青年前期まで、発達段階に応じたスポーツ環境を関係機関や地域と連携し整備します。親子の運動や学校体育の充実、中学校部活動の地域展開等を通じ、生涯にわたる心身の健康づくりと体力向上を図ります。

- ニュースポーツの普及
- 助成事業の情報提供
- スポーツ活動の情報共有
- 乳幼児教室における運動実践
- 幼児対象運動教室の拡充
- 遊びやスポーツの楽しさと大切さを伝える講座の実施
- 親子・三世代・子ども同士でできるスポーツ活動・体力測定会の実施
- プロスポーツ選手との交流による運動機会の提供
- 野外体験活動の推進
- スポーツ体験教室、出張教室の開催
- eスポーツ運動会の開催
- ルール・リテラシー教室の開催
- 地域との連携による幅広い種目のスポーツの実践
- 部活動の地域展開の実践

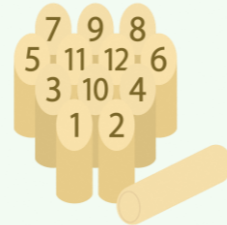


部活動の地域展開における陸上合同体験会の様子

### ②成年期へのスポーツ及び運動機会の提供

継続的にスポーツに取り組むことで健康の保持増進を図ることができるよう、それぞれの興味や関心に応じて積極的にスポーツ活動に取り組むことができる機会を提供します。

- ニュースポーツの普及（再掲）
- 助成事業の情報提供（再掲）
- スポーツ活動の情報共有（再掲）
- プロスポーツ選手との交流による運動機会の提供（再掲）
- eスポーツ運動会の開催（再掲）
- スポーツに関する情報発信
- 体力づくり型事業の推進
- 自己の健康管理に資する取組の促進



### ③高齢期（65歳以上）の体力づくりの推進

高齢者がいつまでも元気な生活を送ることができるよう、スポーツの大切さを啓発するとともにスポーツ活動への参加機会を提供し、健康の保持増進を図ります。

- ニュースポーツの普及（再掲）
- 助成事業の情報提供（再掲）
- スポーツ活動の情報共有（再掲）
- eスポーツ運動会の開催（再掲）
- スポーツに関する情報発信（再掲）
- 体力づくり型事業の推進（再掲）
- 自己の健康管理に資する取組の促進（再掲）
- 身近にできる運動の推進
- 健康増進・体力づくり教室の拡充
- 交流センター等でのeスポーツの普及



### ④障がい者スポーツの振興

障がいのある人が自主的かつ積極的にスポーツ活動に取り組む機会を提供します。また、障がい者がスポーツに取り組む上で欠かせないサポート者（ボランティア等）を育成していきます。

- ニュースポーツの普及（再掲）
- スポーツ活動の情報共有（再掲）
- eスポーツ運動会の開催（再掲）
- 障がい者スポーツへの参加機会の確保
- だれもがスポーツに親しむ環境づくりの推進
- 障がい者スポーツを持続するための環境づくりの推進
- 福祉施設での活用



## 基本目標2：スポーツ文化の継承

スポーツの環境の整備を推進するため、次の具体的な施策を掲げて展開します。

### ①スポーツ指導者の人材育成及び確保

スポーツ推進に向けた人材育成と指導者の資質向上を図るため、研修会の充実や資格取得情報の提供に努めます。さらに、地域のニーズに応じた人材の確保と活用方を検討します。

- 指導者資格取得のための研修等に関する情報提供及び支援
- スポーツ指導者研修会の開催

### ②スポーツ推進委員の資質向上

スポーツ推進委員の資質向上に向け、研修会の開催や参加を促します。また、地区交流センターと連携して地域で活躍できる情熱ある人材を発掘・育成するとともに、障がい者スポーツの普及にも取り組みます。

- 市独自のスポーツ推進委員研修会（障がい者スポーツの普及等）の開催
- 各種研修会への参加促進

### ③スポーツ施設的环境整備

市民が安全で快適に利用できるよう、スポーツ施設の計画的な修繕や長寿命化、統廃合等の検討を進めます。また、バリアフリー化やプライバシー配慮、民間活力の活用、予約システムの拡充等で利便性を高めます。

- 公共スポーツ施設の個別施設計画の策定
- 補助金、助成事業等の活用による施設等の整備
- スポーツ施設バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
- プライバシーに配慮した更衣室等の改修・整備
- スポーツ施設予約システム利用の拡充
- 国スポ・全スポ開催に向けた競技会場施設の改修



### ④スポーツ及び運動に関する情報提供

市民がスポーツ大会等の情報を得やすいよう、市の広報紙等、広域ネットワークを活用して発信します。また地元メディアや関係団体との連携、SNSの活用により、スポーツ情報に触れやすい環境を整備します。

- 中海・宍道湖・大山圏域自治体への情報発信
- 地元ケーブルテレビ等、外部メディアによる市民向けの情報発信
- スポーツ団体ガバナンスコードを用いた自己説明・公表の促進

### ⑤スポーツ医・科学の理解と活用

専門機関と連携した医科学講演会や指導者向けセミナーを開催し、怪我予防や知識普及を図ります。

- 島根大学等と連携した講演会の開催
- 指導者向けセミナーの開催



スポーツ指導者研修会で理学療法士からけがの予防についての講習を受ける様子

### ⑥ボランティアの育成

企業等がCSR（企業の社会的責任）活動等でボランティア参加できる仕組みを検討し、多様な主体がスポーツを支える体制を構築します。

- 企業等がCSR活動等としてボランティア参加できる仕組みづくりの検討